

平成27年11月現在

循環型農業を目指して (株式会社セブンファーム深谷)

<法人の概要>

所在地：埼玉県深谷市

設立：平成22年10月

資本金：150万円 売上高：3,350万円（平成26年）

構成員（議決権）：農業従事者2名（50%）、（株）セブンファーム（25%）、JA（25%）

従業員数：臨時雇用者2名

経営面積：0.5ha（全て借入）

作付作物：長ネギ0.5ha、キャベツ0.5ha（年2作）



ねぎの作付け状況



店のパートさんによる収穫体験

<営農を開始するまでの状況>

- ・ 食品リサイクル法の改正（平成18年）による食品循環資源リサイクル目標の達成に向けて、イトーヨーカドーでは様々な検討を行い、その一つとして循環型農業を実施することを決定した。
- ・ 平成20年頃、埼玉県から農業参入への働きかけがあったことから、当方の循環型農業を提案したところ、県が積極的に県内JAに働き掛けをし、その中でJAふかや、深谷市農業委員会が手を挙げたため、（株）セブンファーム（平成22年7月設立）とJAふかやとの共同出資により農業生産法人（株）セブンファーム深谷を立ち上げるに至った。
- ・ （株）セブンファーム深谷に出資している（株）セブンファームは、イトーヨーカドーの農業事業における中核会社であり、事業全体のマネジメントを行っている。
- ・ 法人の役員3名のうち2名はJAふかやの組合員（地元農業者）であり、また、JAふかやから出資を受けていることから、JAふかやには（株）セブンファーム深谷の出荷業務等に積極的に関わってもらっている。

<特徴的な取組>

- ・ ①イトーヨーカドーの店舗で発生した食品残さを地元の業者が堆肥化、②その堆肥を使って(株)セブンファーム深谷が野菜を生産、③生産した野菜をイトーヨーカドーの店舗に出荷して店頭で販売、という流れで循環型農業を行っている。
- ・ また、(株)セブンファーム深谷による自社生産のほか、ＪＡふかやの組合員の中から協力農家を集って、契約販売（同じ堆肥を使ってイトーヨーカドーに出荷・販売）を行っている。
- ・ 普段は店舗で販売に携わっているイトーヨーカドーの社員に、(株)セブンファーム深谷の農場で農作業の体験を行ってもらい、商品に愛着を持って仕事に取り組めるよう研修の場として活用している。

<今後の農業経営の展開方向>

- ・ (株)セブンファーム深谷による自社生産の拡大は特に考えていないが、協力農家をＪＡふかやの組合員を中心に増やしていき、堆肥の消費拡大や、野菜の販売量を増加させていきたい。
- ・ 販売店からお客様の要望等を出してもらい、その情報を生産者につないでいくことで、より需要の高い生産物の栽培を行っていききたい。
- ・ 現状、主力品目である長ネぎは、ブランド化を進め「深谷ねぎ」としてグループ会社であるセブンイレブンに、セブンミールサービスを通じて個人宅配による販売を開始。今後もオクラなど品目を拡大して行く。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

- ・ 販路の確保及び規格外品も含めた販売の工夫と選果・選別に係るコストの削減が重要。



夏場の作物がない時期の作物としてオクラ栽培の提案、販売



食品残さを堆肥化する堆肥場